

1. 活動テーマ：ものづくり大学での技術士制度の説明

2. 開催日時：2023年5月25日(木) 17:10~18:30

3. 開催場所：ものづくり大学中央棟 C-1020 大講義室

(〒361-0038 埼玉県行田市前谷 333 番地 TEL：048-564-3200)

説明会は講義室で対面にて実施したが、参加できなかった学生等への説明のため、Videoでの撮影が行われた。

4. 参加者人数：43名

建築学科、情報メカトロニクス学科学部生、大学院生及びOB(学内職員含む) 40名

主催者：技能工芸学部 学部長 教授 大垣賀津雄氏(技術士)

説明者：埼玉県支部 伏見隆夫(講師)、白岩信裕(随行者)

5. 説明用資料

①パンフレット「技術士試験 受験のすすめ」(公益社団法人日本技術士会 令和5年3月版)

②レジュメ「技術士制度について～制度及び技術士試験の概要～」(パンフレットの補完資料)

なお、制度の説明は、配布資料を活用しつつPPTにて実施した。

6. 実施記録

6. 1 主催者挨拶

学部長 教授 大垣賀津雄氏(建設、総合技術監理)

本日の説明会では、技術士会(埼玉県支部)から講師を招き、資格取得の意義や取得のための試験制度に関し説明を受ける。技術士は技術者の高位資格であり、一次試験合格は就業先に評価されるので、参加された皆さんには是非とも一次試験の受験を奨めたい。

6. 2 技術士制度の説明

埼玉県支部 CPD 委員会委員 伏見隆夫(経営工学、総合技術監理)

説明の前に、技術士資格の成立経緯と技術士の様々な分野での活躍を披露したく、(公社)日本技術士会制作の「技術士に関する動画」を2本(約5分間)放映した。

その後、PPTにて、技術士法の要点、技術士資格の有用性、資格取得試験の概要が説明された。

説明では、学生が受験可能な一次試験の概要と、次の段階、即ち一次試験合格後の二次試験受験に至るまでの科学技術に係る実務経験を積む期間(過程)と二次試験の内容が述べられた。特に、実務経験を積む期間中から技術士資格に必須な資質能力(コンピテンシー)を育成し、資格取得後も常に向上させるのが重要であることが話され、二次試験ではその理解度が問われるとも話された。

説明の後、質疑応答があり、技術士資格の取得でよかった点の紹介とか他資格取得への受験学習の有用性に関し質問がなされ、業務遂行上のメリットや他資格取得上の特典などが説明された。

[制度説明の内容]

技術士の定義、制度、資質能力、登録者数、資格保有のメリット、技術士資格取得ルートとステップ(二次試験合格に至る道程)、一次試験の実際(基礎、適性、専門科目)・合格率、過去問勉強の重要性、資質能力の内容。

6. 3 その他

説明会の様子



以上
(記録：白岩信裕)